

こどもがしるべき

# コロサイ人への手紙



コロサイ地域は、小アジアとシリアを結ぶ交通の要所でした。豊富な資源だけでなく、東西の文化の交流もあつた場所です。そして、いろいろな哲学と宗教が混ざり合つた小さな地域でした。

そこにたてられた教会が、コロサイ教会です。パウロによつてたてられた教会ではなかつたのですが、パウロから福音を聞いたエパfrasという人によつてたてられた教会でした。(コロサイ 1:7-8、4:12) コロサイ教会は、迫害の中にあつましたが、神様のみこころに従つて、教会を通した救いの福音は、止まることなく、さらに広がつていきました。

コロサイ人への手紙は、

1つ目、イエス・キリストだけが唯一の信仰の対象であることを記録しました。

その方は、神様であり、創造主です。人となつて来られ、十字架で血を流して死ぬことによつて、神様と人間を和解させてくださいました。(コロサイ 1:15、20-22)

2つ目、信徒はキリストの中にあることを記録しました。(コロサイ 2:10-15、3:1)

私たちはキリストの人です。それゆゑ、パウロはすべての考ゑと行動を、主に委ねて、みことばに従つて生きなければならないと助言しました。(コロサイ 2:6-7、3:1-17)

神様は、エパfrasのように、福音を受けたレムナントが、行くすべての所を生かす契約伝達者になることを願つておられます。6月には、この働きに用いられるように、ただイエス・キリストの福音で、私、私のこと、私の現場を見つけましょう。